



NPO法人 ITでマサル、ハタラク、拓き合う。

札幌チャレンジ

HSK 札チャレ通信

はじめまして（初めて）

はじめまして（会う）



右手の人差し指と中指を立て、人差し指側を額に当てる

札チャレ通信

手話講座 ③

～はじめましての挨拶～



両手の人差し指をおじぎさせあう

目次

- 02.....コミュニケーションが苦手な学生・若者のための就活サポート事業
- 03.....視覚障がいの方にお勧めのソフト・アプリ紹介
- 04.....パソコンボランティア派遣事業
- 05.....放課後等デイサービス さっチャレだより
- 06.....放課後等デイサービス パソコン検定の試験会場に認定
- 07.....就労グループ 中間的就労の必要性・可能性を信じて
- 09.....移行グループ コミュニケーションが苦手な学生・若者のための就活サポート事業について
- 10.....移行グループ プログラム紹介
- 12.....会費・寄付の納め方

昭和 48 年 1 月 13 日第 3 種郵便物承認 HSK 通巻 619 号 Vol.256

発行:2023 年 10 月 10 日発行(毎月 10 月発行)

編集:〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 6 丁目 1 番地北苑ビル 2 階

NPO 法人 札幌チャレンジ TEL:(011)769-0843

発行:HSK 北海道障害者団体定期刊行物協会

定価:30 円(年会費に含まれる)



コミュニケーションが苦手な学生・若者のための就活サポート事業

NPO 法人 札幌チャレンジド
理事長 加納 尚明

今、大学には大きな課題があります。

コミュニケーションが苦手な学生が卒業はできるが就職が決まらないという課題です。卒業後、行き場が無く、結果として家に引きこもりがちになってしまいます。

本人が辛いだけでなく、社会全体から考えて、大学を卒業し、これから社会を支える立場になる若者が働くことができないのです。

このような社会課題を何とかしたい！学生の手力になりたい！そんな想いを日本財団さんに提案し、4月から「コミュニケーションが苦手な学生・若者のための就活サポート事業」を始めました。

札幌市内3大学に協力してもらいながら進めています。まだ始めて数ヶ月ですが、8名の学生が就活サポートプログラムに参加しています。主に、コミュニケーショントレーニングや自己理解などのプログラムを進めています。

詳細は、本事業用のホームページに掲載しています。札幌チャレンジドのホームページからリンクしていますので、ぜひご覧ください。

もし身近にそのような学生がいましたら、お気軽にお問い合わせください。どちらの大学・専門学校等の学生でも大丈夫です。

担当:NPO 法人札幌チャレンジド キャリアデザイン札幌チーム

お問い合わせ

電話:011-769-0986(キャリアデザイン札幌チーム直通)

受付時間:平日 月曜日～金曜日 9:30～17:30

<https://careerdesign-sapporo.com/>

※本事業は日本財団の支援事業です

視覚障がいの方にお勧めのソフト・アプリ紹介(5)

「Seeing AI」(スイーグエーアイ)

講習グループ スタッフ

篠原 光陽 (しのはら こうよう)

視覚に障がいのある方へのパソコン講習を担当している篠原です。私自身が全盲です。

ここでは不定期連載として、視覚に障がいのある方がパソコンあるいはスマートフォンで利用するソフト、私が便利と思っているソフト・アプリを紹介させていただきます。

今回は、スマートフォンのアプリとして[Seeing AI]を紹介します。

このアプリは Microsoft 社(マイクロソフト)が開発した無料のアプリで、iPhone(アイフォン)、iPad(アイパッド)、アンドロイドのスマートフォン、あるいはタブレットに対応し、視覚障がい者の日常生活支援のアプリとして広く利用されています。

スマホ、タブレットのカメラ機能を利用し、カメラの目の前にあるものが何かを音声で説明してくれます。多くの便利な機能が用意されていますが、ここでは私がよく利用する三つの機能を紹介しましょう。

アプリを起動すると、表示されるいくつかのアイコンの中に次の三つのアイコンとその名称が探せます。

①「**短いテキストの読上げ**」: テキスト(文字情報)がカメラの前に表示されると読み上げます。

郵便物の宛名、差出人、そして本文。壁に貼られている書類などがスマホひとつで手っ取り早く確認できて重宝します。

②「**ドキュメント**」: 印刷文書をテキスト化し、ファイルとしてデバイスに保存できます。

役所から届いた書類や、契約書など、大切な書類は現物を保存しますが、控えとしてスマホに保存して置くと必要な時にすぐに確認できます。

ただ、うまく撮影するコツを掴む必要があり、何回かの練習は必要になります。私は、印刷物を丸ごと間違いなく保存したいとき等は、周りの方にサポートをお願いしながら撮影しています。

③「**製品**」: バーコードの読み取りで製品情報を音声で確認できます。

バーコードの位置は、アプリがビープ音を鳴らして見つける手助けをしてくれます。冷蔵庫に入れておいた商品など、どれが何かわからなくなった時に便利に使えます。

ほかにも機能がありますが、それについては私もこれから挑戦です。

アプリについての詳しい情報は次のホームページを参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/ai/seeing-ai>

障がいのある方を対象とした

パソコンボランティア派遣事業

障がいのある方のご自宅などに伺い、パソコン本体や周辺機器などの初歩的な操作ができるようにお手伝いをします。

1 派遣対象は？

札幌市内に住む障がいのある方です。

2 申込方法は？

区役所等に設置の申込書に必要事項をご記入の上、札幌市障がい者ICTサポートセンター(下記参照)宛に、郵送又はファックスで、お申し込みください。

※申込書をご希望の方はセンター宛にご連絡ください。

3 費用は？

利用料金として1時間あたり1,000円を、直接ボランティアにお支払いただきます。

- ① 原則として、派遣は1回2時間以内です。
- ② 年度内12回まで必要な回数をご利用いただけます。
- ③ ボランティアへの交通費支払いの負担はございません。

★「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行」の状況下、感染に対する備えは必要と考えますので、以下の対策を実施いたします。

1. 利用の制限

障がいの状況、サポート対応の緊急性及び札幌市内の感染状況により、派遣可否の判断をさせていただきます場合があります。

2. 衛生への配慮(受講者とボランティア双方)

- ①当日は事前に検診を行い、体温が37.5度以上(平熱より1℃程度高い状態)の場合は中止します。
- ②マスクの着用。③講習前後の手指アルコール消毒。
- ④講習前後の共有使用機器の消毒。(除菌シートで拭く等)
- ⑤換気の徹底。(1時間ごとに5~10分)
- ⑥「真正面」での会話は避ける。



お申し込み、お問い合わせはお気軽に・・・
住所:060-0807 札幌市北区北7条西6丁目1 北苑ビル2階
札幌市障がい者ICTサポートセンター

電話:011-769-0841 ファックス:011-769-0842

Eメールアドレス:support@s-challenged.jp



障がいのある方のためのパソコンボランティア養成講座を受講したボランティアが伺います！

さっチャレだより



おたよりはじめます！

ようやく朝晩涼しくなってきましたね。今年の夏は暑い日が続きましたが、皆さん暑さを乗り越えられたでしょうか。通っている生徒さん達も、教室に「ふうー」と赤い顔でやってくる様子がよく見られ、今年の暑さはすごいなあと思って見ていました。

さて、タイトルの件ですが、この度、新しい取り組みとして、放課後等デイサービスのおたよりを発行する運びとなりました！年4回発行予定です。今までは、保護者の方に向けた書類のみで、様子のお知らせをしておりましたが、おたよりやSNSと併せて、もっと全体的な雰囲気をお伝えしていきたいと思います。よろしくお願いたします。



夏休み工作 うちわギャラリー



好きなイラストにピンクのうちわ骨が可愛い！



こちらは人気アニメと黄色のうちわ骨！

毎年恒例、夏休みのうちわ制作！今年もグレードアップし、うちわの骨の色が7色の中から選べるようになりました！



コミュニケーション講座開始

7月よりコミュニケーション講習が開講！

- ・CST（コミュニケーションスキルトレーニング）・・・公認心理師として、様々な学校でスクールカウンセラーや講師として活躍されている、土井先生の講習です！初回はみんなの好きな物を発表しあい、わいわいと楽しく、あっという間に時間が過ぎました。
- ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）・・・キャリアコンサルタント、産業カウンセラーとして、様々な学校でキャリア教育について教えている、米倉先生の講習です！初回は「キャリアって何？」「初任給の使い道」などを真剣に考えました。



お知らせ

- ①検定について
模擬検定を今後月1回開催
本番の検定も年度内実施の予定です。
- ②利用の保護者向け学習会開催
9/30(土)CST講師で公認心理師の土井先生による講演&相談等
(11ページにプロフィールがあります)
- ③Instagram・ブログ更新中
QRコードからアクセス！札チャレHP
放課後等デイサービスのページにもリンクがあります。



～編集後記～
次のおたよりは冬に発行の予定です！お楽しみに！
金村

パソコン検定の試験会場に認定されました！

講習グループ スタッフ
金村 萌香(かなむら もえか)

放課後等デイサービスでは、7月より、新コース「キャリアデザインコース」が始まりました。パソコンとコミュニケーション講習のトレーニングで将来の社会参加に備える、中学校3年生以上対象のコースです。

こちらのコース内で実施の模擬検定が、放課後等デイサービスに通っている全ての方が受けられるように変更となりました。また、今後、本検定も受けられるようになります。詳細は下記をご確認お願いいたします。

お知らせ 1 ～ 札チャレで資格を取る ～



パソコン検定「日本情報処理検定協会(日検)」の試験会場に認定されました！

今後、模擬検定だけではなく、本検定も札幌チャレンジドで受けられることとなります。合格すれば実際に合格証書が届き、資格を取ることができます！（全ての利用者さん対象です。）

検定の日程については、今年度中に試験実施に向けて準備中です。楽しみに！

<日検の検定受験の特徴、メリット>

- ・慣れた場所での受験で、本来の力を発揮しやすい！
- ・入学試験での優遇対象にする学校が増えています！
- ・実務に強い資格です。実社会で通用する確かなスキルが身につきます。
- ・実技のみの試験なので、筆記がありません



お知らせ 2 ～ 模擬検定で力試し ～

模擬検定が、通っている全ての方の受験が可能となりました！

キャリアデザインコース内で、毎月1回開催予定だった札チャレ模擬検定が、通っている全ての方が受験できるようになりました。

コースに申し込みをしていなくても、中学2年生以下の方もチャレンジができます！本検定を受ける前の練習にもなります。是非、力試しに受けてみてはいかがでしょうか。

注1) 模擬検定の内容は「日本情報処理検定協会(日検)」の内容に即します。

注2) 模擬検定に申し込まれた方は、普段の講習の中で、学習内容に検定対策が入ります。



中間的就労の必要性・可能性を信じて

理事・就労グループリーダー

佐藤 美貴 (さとう みき)

札幌チャレンジドが就労継続支援事業A型事業をはじめから今年の10月で18年になります。支援に対する想いは一貫して変わらぬも、支援のあり方については随分と変化を続けてきました。

特に大きく変化をしたのは「テレワーク就労(遠隔支援)」かと思います。今回は札幌チャレンジドの「テレワーク就労」についての想いについて少しお話をさせていただきます。

事業開始当初より「就労継続支援事業は、企業で働くことには難しさのある人を対象に個別の福祉的な支援と働く場を同時に提供するタイプのサービス」であるのだから、通うことができない人にも同じようなサービスを提供したいとの思いが私達にはありました。

その思いから生まれたのが、「テレワーク就労」です。最初の頃は、主に札幌市内の重度身体の方を対象にすすめてきました。主に Skype やメール機能を使ってのやりとりを中心に、どうしても意思疎通が難しい場合は訪問をするなどで支援を進めていました。そのような方法で支援を進めていくなか、大きな転機になったのは2017年に発売された「Microsoft Teams」です。さらに、2019年頃より関東圏を中心に行われた「東京オリンピック開催に向けた在宅勤務等のリモートワークの推進」により、一気にテレワークに関する関心やツールが増えました。私達のテレワーク就労支援もメールや Skype などから Microsoft Teams によるグループチャット・オンライン会議・画面共有などの機能を組み合わせたものになり、在宅であっても通所と変わらぬスピード感のあるリアルタイムな対応・支援を行なうことが実現できました。

体力・体調を考慮 障がいの進行、加齢、体力的限界/病気・障がい理由で、日によって体調が変化/荒天時や降雪時に職場へ車いす移動が精神的負担

メンタルヘルスの課題 移動時の人混みが怖い/人とすぐに比較してしまい、落ち込みやすい

育児・介護 介護・育児との両立/障がいがある子供の支援

遠方に居住 近隣に自分のスキルを活かせる福祉サービス(就労継続支援A型)がない

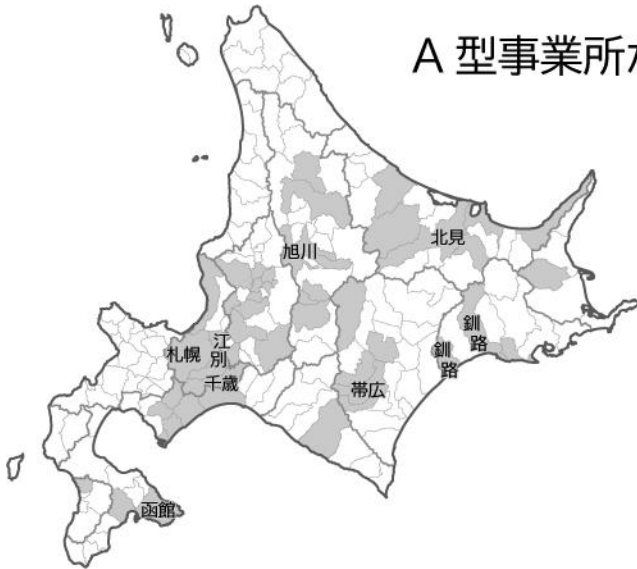
テレワーク就労の支援の範囲も変化をしていきました。

先述の通り、それまでは主に札幌市内の重度身体の方を対象に行ってきましたが、事例を積み重ねていくうちに、札幌市内以外のテレワークでの働き方が必要な障害がある人から相談をうける機会が増えていき、今では道南の北斗市や道東の釧路市を含む北海道内の様々な地域に住むメンバーを受け入れることが可能になりました。

なぜ、札幌拠点の私たちが北海道内の様々な地域に住むメンバーを受け入れるのかと疑問に思われる方もいるかもしれませんが。ここには、私達の支援に対する変わらぬ想いがあります。

A 型事業所が一か所以上ある市町村

(令和 3 年度)



北海道には 253 の A 型事業所がありますが、A 型事業所がない市町村も 134 あります。

色の濃い部分は A 型事業所が一か所以上ある市町村です。

※参考資料：道内179市町村のA型事業所所在地

行政の資料によると、北海道には約 253 の A 型事業所があるそうです(令和 3 年度現在)。この数字だけきくと、そこそこ多いようにも思う方もいるかもしれませんが、そのうちの 119 事業所の 47%は、札幌市内にあります。そして、北海道内で 1 か所以上 A 型事業所がある市町村は 179市町村のなかで、わずか 45 か所だそうです。残り 134 市町村には A 型事業所がなく、「企業で働くことには難しさのある人を対象に、個別の福祉的な支援と働く場を同時に提供するタイプのサービス」の A 型事業所が働く選択肢にならない地域に住んでいる方が、全道の約 75%いるという現実があります。

札幌位に事業所が多いと、札幌やその近郊の方は当事者がいくつもの事業所のなかから、自分に合ったところを選べるようになることに繋がりますが、それ以外の地域に住む人にとっては、事業所がない方はもちろんのこと、例えば事業所があっても定員の関係で就労支援サービスが狭き門であることが多い市町村もある状況です。

そのような現状を踏まえ、札幌チャレンジドでは、2020 年より官民連携事業として、北海道と共に北海道内に在住する障がいのある方を対象にテレワーク就労体験を行っています。特に A 型事業所がない地域のかたや、テレワークで働ける環境が近くでないチャレンジドの方に大変好評いただいております。働く選択肢を広げていただき、近くに働く場所がなくてもテレワークという手段によって自分の可能性の幅を広く持ってもらう、気づきを得てもらうきっかけづくりを行っています。

札幌チャレンジドは福祉サービス事業所でもありますが、NPO法人という側面もあります。これからも社会課題と向き合いながら柔軟かつ必要とされる支援を目指して取り組んでいきたいと思えます。一般就労が難しい人たちにとって、中間的就労の A 型だからこその必要性・可能性を信じ、私達がその方の多様な選択肢の 1 つになるようテレワーク就労に取り組んでおります。

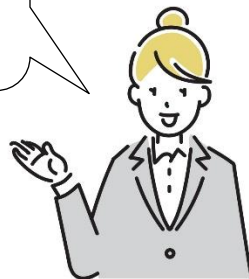
コミュニケーションが苦手な学生のキャリア支援事業について

キャリアデザイン札幌チーム スタッフ
中川 かおり(なかがわ かおり)

本誌 2p で加納からご紹介させていただきました通り、今年度から日本財団様の助成を受け、「コミュニケーションが苦手な学生向けの就活サポートプログラム事業」を始めました。今年の春から市内 3 大学にて学生向けの説明会を開催し、7 月より本格的にプログラムがスタートしました。

プログラムでは「A.自分を知る」、「B.仕事を知る」、「C.就労スキルトレーニング」、「D.自己 PR・就活スキル」の 4 つのテーマで、様々なプログラムを実施しています。9 月現在、8 名の学生さんに参加していただいております。一人ひとりの困りごとや学業の都合に合わせてプログラムを組むことが可能です。利用料は無料で、学年学科問わずご利用いただけます。

「就活を始めたいが、何から始めればよいかわからない」、
「自分のアピールポイントがわからない」など、
お困りの学生さんはぜひ一度お問い合わせください。



《お問い合わせ・お申し込み》

NPO 法人 札幌チャレンジド キャリアデザイン札幌チーム(大山・中川・金澤・渡辺)

電話:011-769-0986 FAX:011-769-0842

mail:iko@s-challenged.jp

〇HPもあります→

<https://careerdesign-sapporo.com/>



〇LINEからもお問い合わせいただけます→

札幌チャレンジド キャリアデザイン札幌チーム専用アカウント



移行グループ紹介

移行支援グループ プログラム紹介

移行支援グループ スタッフ
金澤 美希(かなざわ みき)

札幌チャレンジの移行支援では様々なプログラムをご用意しています。今月は毎週開催している、コミュニケーション講習についてご紹介します。

◎コミュニケーション講習

カウンセリングルームあすか 土井敦子先生によるコミュニケーション講習です。交流分析をベースとして、様々なエクササイズを行います。「コミュニケーションが苦手」と話すメンバーの皆さんも楽しみにしている講習で、肩ひじを張らず、自然と思いを伝える力がついていきます。自分の心の声に気づき、自分らしく生きることを大切にしていきます。自己肯定感を高め、人を思いやる心を築きます。具体的な講習内容は以下の通りです。

～講習内容の一例～

1. エゴグラム・自我状態

…エゴグラムとは交流分析で用いられる性格分析の手法です。人の心を5つの自我状態で捉え、それらをもとに、人と関わる時の思考や感情、行動のクセや傾向について考えていきます。

2. 人生脚本

…生まれ育った環境や親との関わりにより作られた価値観を学びます。

3. ストローク

…自分や相手の存在を認める行動、働きかけについて勉強します。

4. 川柳大会

…お題に沿った作品をつくり発表会を行います。作品を読んだ時の印象などを自由に話し合いながら、最終的にはグランプリ作品を決定します。

5. その他(カードやゲームなどを通して、様々なエクササイズを行います)

「価値観カード」

…52個の言葉が書かれたカードの中から

気になる言葉のカードを選び、その言葉が示す価値観について意見交換をします。

「私のあいうえお物語」

…50音のいずれかを使いながら自由にお話を作り、メンバー同士で作品を発表しあいます。

「金子みすゞ詩集」

…金子みすゞさんの詩集の中から好きな作品を選び、今後の自分にどのように活かすか考えます。



※価値観カード

…等



※講習の様子

日々、楽しく学んでいます。見学もOKです。

※ことわざカルタ



◎カウンセリングルームあすか 土井敦子先生のご紹介

<講師紹介>



講師 土井 敦子

資格：公認心理師 交流分析士 キャリアコンサルタント 養護教諭1級 中学校教諭 他

活動：北海道公立学校スクールカウンセラー カウンセリングルームあすか運営

若者サポートステーション相談支援員 就労移行支援コミュニケーション講座講師

短期大学スクールカウンセラー・非常勤講師（保育科） 他

《お問い合わせ》

NPO 法人 札幌チャレンジド 移行支援グループ(大山・中川・金澤・渡辺)

電話:011-769-0986(直通) FAX:011-769-0842

mail:iko@s-challenged.jp

会費・寄付の納め方

1. 郵便振替

郵便局においてある振替用紙でお納めいただく
(1,000 円の場合は窓口手数料 203 円、ATM 手数料 152 円)

<振込先> 口座番号 02750-5-1346
「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド」

2. 銀行振り込み

(北洋銀行から 1,000 円を振り込む場合、手数料 110 円)

<振込先> 北洋銀行 札幌西支店 普通 3966083
「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド 理事長 加納尚明」

3. 現金書留で送っていただく

4. 札幌チャレンジドの事務所にお持ちいただく

5. 訪問講習を受けている方は、訪問講師にお預けいただく

いつもありがとうございます



HSK 札幌チャレンジド通信

昭和 48 年 1 月 13 日第 3 種郵便物承認

発行:2023 年 10 月 10 日 HSK 通巻 619 号 Vol.256

「札幌チャレ通信」

冬号発送予定日

令和 5 年 1 月 22 日 (金)